記者発表資料

平成２８年５月２７日
酒田河川国道事務所

最上川下流、赤川大規模氾濫時の減災対策協議会（仮称）の開催
～大規模氾濫に対する減災に向けて～

酒田河川国道事務所では、平成27年9月関東・東北豪雨等の教訓を踏まえ、最上川下流、赤川において氾濫が発生することを前提として地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、国、県、市町が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するために、「最上川下流、赤川大規模氾濫時の減災対策協議会（仮称）」を開催します。

１．実施日時・場所

日時：平成２７年５月３０日（月）１３時３０分～１５時
場所：酒田河川国道事務所２階　大会議室

２．議事（予定）

（１）現状の水害リスク情報や取り組み状況の共有等
（２）減災のための目標（案）及び取組方針について

３．公開等

（１）本会議は公開としております。
（２）報道関係者の席を用意しております。
（３）撮影は冒頭（挨拶）までとさせていただきますので、ご協力お願いいたします。

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会、エフエム山形、酒田エフエム放送

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
〒998-0011　酒田市上安町1-2-1
ＴＥＬ０２３４－２７－３３３１（代表）
副所長（河川）　高橋　一　（内線２０４）
調査第一課長　川口　滋　（内線３５１）

最上川下流、赤川大規模氾濫時の減災対策協議会（仮称）

委員名簿（案）

鶴岡市長

酒田市長

三川町長

庄内町長

気象庁　山形地方気象台長

山形県　環境エネルギー部 危機管理・くらし安心局　危機管理課長

山形県　県土整備部　参事（兼）河川課長

山形県 庄内総合支庁 総務企画部長

山形県 庄内総合支庁 建設部長

国土交通省東北地方整備局　月山ダム管理所長

国土交通省東北地方整備局　酒田河川国道事務所長

（順不同）

【参考】

国土交通省　記者発表資料より

水防災意識社会 再構築ビジョン

H27.12.11 国交省記者発表

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、**全ての直轄河川とその沿川市町村**（109水系、730市町村）**において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。**

＜ソフト対策＞ ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

＜ハード対策＞ ・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

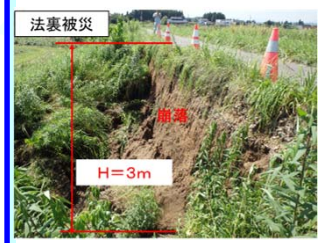
主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

＜危機管理型ハード対策＞

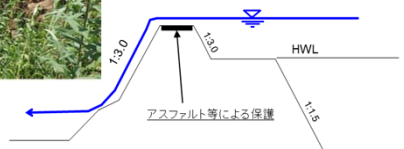
○越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

＜被害軽減を図るための堤防構造の工夫（対策例）＞



天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護
（鳴瀬川水系吉田川、平成27年9月関東・東北豪雨）

横断図



＜洪水を安全に流すためのハード対策＞

○優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

＜住民目線のソフト対策＞

○住民等の行動につながるリスク情報の周知
- ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
- ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
- ・不動産関連事業者への説明会の開催

○事前の行動計画作成、訓練の促進
- ・タイムラインの策定

○避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
- ・水位計やライブカメラの設置
- ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

＊「H27.12.11 国交省記者発表資料」を一部加筆し作成